

ヒトゲノム配列決定戦略会議の開催について

ヒトゲノム全配列決定に取り組む国際共同研究チームは8月30日、理化学研究所（小林俊一理事長）の横浜研究所にて「ヒトゲノム配列決定戦略会議」（非公開）を開催します。本会議は、わが国のゲノム科学研究の中核研究機関である理研横浜研究所ゲノム科学総合研究センター（和田昭允センター所長）の主催で行うものであり、日本で開かれるのは初めてです。

12回目となる今回の会議では、来春に終了する予定である国際ヒトゲノム解析計画について、データの取りまとめ方などを議論する予定です。

なお8月29日には、本会議を代表する榎 佳之プロジェクトディレクター（理研・横浜研究所）、フランシス・コリンズ博士（NIH：米国・国立保健研究所）らが遠山文部大臣を表敬訪問するとともに、各国のヒトゲノム計画の代表者らによる、計画の今後の展開、各国の取り組みなどについての記者会見を行います。

1. 「ヒトゲノム配列決定戦略会議」について

ヒトゲノムに関する全シーケンスを詳細に決定するために、解析に参加する世界各国の研究機関が一堂に介して行われる会議。各研究機関が持ち回りで定期的に行い、第一回会議は1996年2月、大西洋に浮かぶバミューダ島（英国）で行われました。

当初は年一回の開催でしたが、ヒトゲノム解析が本格化してからは年二回の開催となり、一回は米国のコールドスプリングハーバー研究所で、もう一回は参加する研究機関で行われています（第10回会議：2001年8月〔中国・杭州〕、第11回会議：2002年5月〔米国・コールドスプリングハーバー〕）。

会議には、日本、米国、英国、仏国、独国、中国の約20センターの代表者ら約40名が参加する予定です。なお、会議は全面非公開です。

2. 共同記者会見

ヒトゲノム配列決定戦略会議に出席する各国の代表による共同記者会見を開催します。会見への出席者は、別紙の通りです。

期 日：2002年8月29日（木） 午後3時～午後4時

場 所：文部科学省 本館 記者会見室（通訳付き）

（問い合わせ先）

独立行政法人理化学研究所 横浜研究所
研究推進部

反町 耕記

Tel : 045-503-9121 / Fax : 045-503-9113

(報道担当)

独立行政法人理化学研究所 広報室

嶋田 庸嗣
仁尾 明日香

Tel : 048-467-9271 / Fax : 048-462-4715

共同記者会見 出席（予定）者

榎 佳之

理化学研究所 横浜研究所 ゲノム科学総合研究センター
ゲノム構造情報研究グループ プロジェクトディレクター
わが国のヒトゲノム計画の中心的存在。
2002年4月より HUGO（ヒトゲノム国際機構）会長。

Francis S. Collins, M.D., Ph.D.

Director, National Human Genome Research Institute National Institutes of Health
アメリカのヒトゲノム計画の最高責任者であると同時に、国際チームの代表としても認識されている。がん遺伝子の研究でもよく知られている。

Barbara Skene, Ph.D.

Executive of Wellcome Trust Genome Campus
英国ヒトゲノム計画の中核となっている、Wellcome Trust Sanger Institute（旧 Sanger Centre）の計画企画の担当者。

Jean Weissenbach, Ph.D.

Director, Genoscope, France
フランスのゲノムセンターGenoscope の責任者。ヒトの遺伝地図を完成させた中心人物。遺伝病の解析でも広く世界に知られている。

Huanming Yang, Ph.D.

Director of Chinese Genome Center at Beijing
中国のヒトゲノム計画の中核となる北京のシーケンスセンターの責任者。
最近、イネゲノムのドラフトシーケンスを決定や、ニワトリやブタのゲノムシーケンス解析も進めるなど、中国のゲノム研究推進の中核を担っている。

Helmut Broecker

Head, Genome Sequencing Center at German Biotechnology Center
ドイツのヒトゲノムシーケンスプロジェクトのまとめ役。
日本との 21 番染色体の協同研究にも参加。